

諮問事項に対する検討の方向性について(案)

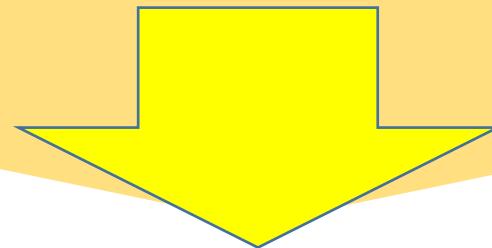
I 諮問事項

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、消防団の活動能力を強化するための方策はいかにあるべきか

II 検討の方向性

1. 東京2020大会における主な課題等

- (1) 夏季に開催されること。(オリンピック 2020/7/22 ~ 8/9・パラリンピック 2020/8/25 ~ 9/6)
→ 多数の熱中症による傷病者が予想されること。
- (2) 各種競技会場は、新宿区に建設される新国立競技場をはじめ、特別区内を中心に複数の競技会場で広範囲に実施されること。
→ 一定期間に多数の警戒要員が必要となること。また、情報の収集と共有化が必要であること。
- (3) 国際的スポーツイベントで、国内外から多数の来場者が予想されること。
→ 外国語などのコミュニケーション能力が必要であること。
- (4) 特別区消防団は、大会開催期間中の各種災害の未然防止や、災害発生時における被害を最小限にとどめるために、全消防団を挙げ応援による警戒活動を実施する予定であること。
→ 災害予防知識及び災害活動能力の一層の向上が必要であり、また、他の地域の消防団員が多数警戒に従事する可能性があること。
- (5) 新国立競技場において、開会式をはじめ多数の競技が行われること。(開会式・サッカー・陸上トラック・競歩・マラソン・閉会式等)
→ 新宿区においては競技場とその周辺、駅、繁華街、マラソンコース等で大規模な警戒を期間中、長時間実施することが予想されること。多くの警戒団員が活動することから指揮能力の向上が求められること。



2. 活動能力を強化する方策

(1) 警戒に伴う装備資機材について

新規整備又は、すでに配置されている装備資機材の増強についての検討

(2) 警戒に向けた教育訓練について

教育訓練・資格講習・教育訓練用資機材・その他教育訓練に必要な内容及び資機材等についての検討

(3) 各消防団の情勢に対応した検討事項

消防団の活動能力を強化するため、各消防団の情勢に応じ、東京2020大会に向けて必要な事項についての検討

(1) 警戒に伴う装備資機材について

具体的なイメージ

① 夏季の警戒に伴う熱中症予防対策用装備資機材

- ・冷却ベスト・冷感ヘルメット
- ・冷感素材の団被服の配置

② 広範囲に及ぶ警戒時に必要となる情報通信用装備資機材

- ・MC A無線機の増強
- ・400Hz無線機の増強

③ 様々な情報媒体による情報収集用装備資機材

- ・警戒団員用タブレットの配置
(位置情報を含めた機能を装備)

④ 発生した傷病者に対応するための応急救護用装備資機材

- ・冷却用救急資器材
- ・AED等の配置
- ・外傷用救急資器材の配置
- ・応急担架(軽量型)の配置

⑤ 発生した火災に対応するための消火用装備資機材

携帯型消火資機材の配置

⑥ 多数の来日した外国人観光客に対応するための装備資機材

- ・救急事象に対応する通訳ソフト
- ・消防に関する案内、救急相談パネル等の設置

⑦ その他、必要な装備資機材

- ・警戒団員の休息用テント
- ・夜間警戒用の照明装置
- ・傷病者、障がい者の移動用車いすの配置
- ・機動力を生かした自転車隊の編成
- ・警戒人員の輸送、傷病者搬送用車両の配置

(2) 警戒に向けた教育訓練について

具体的なイメージ

① 消防署隊と連携した警戒や災害対応に関する教育訓練

- ・テロ災害にかかる多数傷病者発生時の対応訓練、避難誘導訓練、安全管理教養の実施

② 他の消防団との連携や災害対応に関する教育訓練

- ・他の消防団と連携した各種指揮統制訓練の実施

③ 発生した傷病者に対応するため、応急救護能力の向上を目的とした教育訓練

- ・団員の上級救命修了による応急救護能力の向上
- ・熱中症、外傷、心肺停止傷病者に対応する救護訓練
- ・多数傷病者発生時のトリアージ方法等の教養

④ 迅速な消火活動能力の向上を目的とした教育訓練

- ・火災発生時の早期出場及び早期放水訓練の実施
- ・緊急走行訓練（拡声要領含む）の実施

⑤ 情報通信用装備資機材の取扱いの習熟を目的とした教育訓練

- ・無線機取扱い教養の実施
- ・各種図上訓練による無線運用技術の向上

⑥ その他、必要な教育訓練

- ・外国語教養等によるコミュニケーション能力の向上
- ・管内のオリパラ施設、消防水利等の事前把握、教養

(3) 各消防団の情勢に対応した検討事項

具体的なイメージ

① 警戒実施時の諸問題

- ・応援消防団員の受入や警戒員の疲労軽減を考慮した警戒計画の樹立
- ・警戒員の待機、打合せスペース、トイレ等の確保
- ・食糧及び水分の調達、確保

② テロ対策の強化

- ・テロ発生時の避難誘導、応急救護所、搬送ルート等の事前計画とそれに基づく訓練実施
- ・化学、生物、放射性物質、核、爆発物（CBRNE：シーバーン）等のテロ災害知識の教養

③ その他、必要な事項

- ・国、警察、区役所等の関係機関との定期的な情報交換
- ・オリパラ会場、練習会場及び宿泊施設等のバックアップ施設も含めた事前把握